

## 第4回活力あふれる中核都市 分科会 会議要旨

### 1 開催日時

平成26年5月30日(金) 10時00分～12時00分

### 2 会場

久留米市役所3階306会議室

### 3 出席委員(50音順)

委員8名

秋永峰子委員、石橋力委員、空閑重信委員、永田見生委員、原口和人委員、山下永子委員、  
山下浩子委員、米倉秀之委員

### 4 欠席者

委員2名

緒方義範委員、高山美佳委員

### 5 議事次第

#### 1 開会

#### 2 議事

(1)久留米市新総合計画第3次基本計画(案)審議

#### 3 その他

#### 4 閉会

## 発言要旨

### 1. 開会

- 事務局より、委員 10 名中 2 名の欠席を報告。

### 2. 久留米市新総合計画第 3 次基本計画(案)審議について

#### 第 1 節「知恵と技術を創造するまち」について

##### ○空閑分科会長

金官のことが書いてある 35 ページの産学金官。質問で金は金融機関のことと浸透しつつある。この前に金融機関等を含めた産学金官と書かれているのであればこれでいいかなと思う。順番もこれでいいか。

##### ■事務局

経済産業省が主に使うのがこの順番。用語一覧は作成するつもりでいる。

#### 第 2 節「アジアに開かれたまち」について

##### ○山下永子委員

施策の内容 1 の学術研究都市づくりの推進の二段落目、産官学ネットワークとある。産学金官の話があったが、最近この分野では産学官民と民を加える傾向がある。民を加えるということも検討したほうがいいのではないか。またNPOがこの分野で活躍されている動きがある。そういった時にNPOが入る隙間が無いので民を入れてもいいのではないか。

##### ○空閑分科会長

私の感覚だと、産学金官だったら産学金官でいいのではないか。産の中に金が入ると言う説もあり、産の中には産業界。これは民のイメージだ。だから産と民はほぼイコールのイメージであれば、違う意味では金というのを入れたほうがいい。産のところを民に変えるという問題はあがるが、ボランティア、NPOの方も入ることができる。

##### ○山下永子委員

そこは久留米市のスタンスではなかろうかと。金を入れるというのを私はあまり見ていない。福

岡は金を産に入れて、その代わり凄く民に力を入れている。福岡市の場合は学術研究都市の中で、今まで障害者向けの作業場をやっているNPOの方が地元の財界の人達と一緒にコペンハーゲンに研修に行かれ、地元の方と一緒にデザインすることで産業を作るということを研究されて、まさに産学官民でやっている。久留米市が学術研究都市ということで金と、つながってやるというスタンスであれば金を入れたほうがいい。

#### ○空閑分科会長

このあたりは久留米のスタンスという部分もある。産学金官がいいのか産学官民がいいのか。福岡市の基本的な方針、計画案。市の名前を消したらどちらかわからないように、特徴のある言い方を事務局のほうで考えていただければありがたい。

#### ○石橋副分科会長

福岡がどんなことをしていることは、福岡に行ったことがないからわからない。産学官の連携や金融機関の連携と言っているが、久留米大学と連携しているのかというと、そう簡単に連携は取れていないと思う。

理想の姿として連携して学術研究都市を作ろう、研究機関なのでコンベンションもあるでしょうが、永田学長をご存知のように特区などもして集積をしようとしてはいますが、なかなか学術研究都市としてはうまくいかない。結局、高度医療都市と出てくるが、市民病院など持っていない。久留米大学もブリヂストン関係で石橋さんが作ったものがある。そのあたりの関係は、ある程度でき上がっているので、美術館にしても、もう1つの連携がほしい。久留米独自の具体的なものが出てきていないので、そこそのあたりは出したほうがいい。

#### ○永田見生委員

久留米大学の医療研究はうまく利用する。久留米は九大がやっていないことをする。医療関係はそれでいけると思う。

#### ○米倉秀之委員

産学金官か産学官民か。行政に携わっている人間としては、最近では経済産業省や総務省あたりも、なかなか民だけでは動かない部分。そこはファイナンスが必要だということで、産学金官ということがかなり新しい事業で出てきている。ただ日ごろ仕事をしているフィールドによって違うと思うので、山下永子委員が言われたように産学官民になる方もいるのかなと。

MICEの話も出たが、個人的にはMICEは一定の認知を受けており、他の言葉に置き換えようとするとなかなか難しい。用語解説も置かれると聞いたので個人的にはMICEで使っているのかと思う。産学金官か産学官民かは事務局のほうで、一定の認知度を配慮していただいて、どの程度認知されているかというのも調べて決めていただければ良いのではないかと。

○石橋副分科会長

久留米は、学校はありますが人、モノ、金と言われた時にやっぱり弱い。学术研究都市と言われた時に何をやったかという、おそらく思いつかない。ある程度絞り込んで、市長とも相談して、総合政策も考えて少し具体的なものを書いたほうがいい。前からぼんやりしている。産学官が産学金官になったらこの文章でなにかできるのか。言葉も大切だがそれ以前の問題だと思う。

### 第3節「人と情報が行き交うにぎわいのあるまち」について

○永田見生委員

新幹線が停まるようになって久留米は良くなった。

○山下永子委員

私も米倉委員と一緒にMICEはMICEでいいと思う。MICEというのは対外向きに誘致をしなければいけないので、IT産業と一緒に、パッと見て日本語であっても、久留米市はMICEをやろうとしている。という英語が無くてもパッとメッセージとして伝えられる、世界共通の産業分野になってきているのでMICEはMICEだと思っているので、市民の方に理解してもらえばいいのではないか。

○空閑分科会長

これは英語バージョンがでるのか。

■事務局

英語バージョンまで考えている。

○石橋副分科会長

福岡みたいな話だけど人口規模、予算規模も違うので、やっぱり身の丈にあったものやっぺいかないといけない。シティーホテルの話も昔からあるけど、やっぱり来てくれない。小さいところで全日空ホテルがきた釧路はラムサール条約の時に世界会議を行ったので、その時点で全日空は来た。

○永田見生委員

結局いろいろな会社や大学に売り込みではなくて、コンベンションをやっている会社、我々を使うコングレーという大きな会社。いくつか学会をやっているがもう決まっている。そんなところにかかないと。

○永田見生委員

後は値段。学会は会場費が安いと飛びつく。あの人達も儲けを出さないといけないのだから。学会の主催者ではなくてコンベンション会社を攻めるというか営業すべき。するとコンベンション会社が久留米でどうですかと聞いてくる。

○山下永子委員

福岡はMICEに力を入れていて、今度部長を800万円で雇うということを全国規模で募集している。今福岡で何が足りないかというホテルが足りない。エクスカージョンなど事前事後も含めて福岡市との情報交換をしながら、おこぼれと言いつつもあれですが、新幹線で15分ぐらいだったら移動距離に入らないし負担にならないと思うので、ここは久留米観光コンベンション国際交流協会と連携して、周辺の地域との連携などを入れていいのではないのか。

○石橋副分科会長

それは行政感覚からいくと非常に難しい。福岡は政令指定都市で県は要らない。広域でやる場合久留米市は県を通さないといけない。福岡市と福岡県は犬猿の仲。ちょっとしたことでひどい。その狭間に入っていかなければならないので非常に難しい。

○山下浩子委員

MICEという言葉は一般の人にはわかりにくいということで、用語集ができ上がったときに産官金官等、この言葉は後の用語集を見てくださいというのがわかるのか。わかるようになっているのか。

■事務局

今の基本計画はアスタリスクをつけていてそれを後ろに持ってきている。今回は欄外にするのか後ろにつけるのかというのはまだ決めていない。

○山下浩子委員

もし、このつづりをマイスと略して読むということも知らない人も沢山いると思うので、英語表記、頭文字表記のときに読み仮名がつくのか。ここにMICEそのもの説明を長く入れることはできないと思うので、聞きなれない言葉が多いのであれば全体の表記の仕方。後ろを見やすく、後ろについていますというのをわかりやすくするか、その言葉がでてくるところに置く説明が読みながら理解してもらおうようにあるか。

○空閑分科会長

これは全部書かないと難しい。1個ずつ意味合いがある。Mはミーティング。Iはインセンティブ旅行。Cは国際会議、Convention。Eはイベント。Exhibition/Event。それをそれぞれ書いて、日本語を書くとしないと駄目。2行ぐらいの解釈がないと駄目。

○永田見生委員

23 ページに「セーフコミュニティの推進」というのがあり、施策の内容でセーフコミュニティとは「生活の安全と安心を脅かす事故やけがは、原因を究明することで予防することができる」と書いてある。こんなふうにかいてMICEのところの一項目としてすればいいのではないかな。

○石橋副分科会長

本文に入れればいいのではないかな。MICEということはこういったことと書いていけば良いと思う。本文に入れれば注釈つける必要はないと思う。

○石橋副分科会長

カッコ書きでもいいから何の略というのを書いたほうが良い。

○空閑分科会長

国際会議。いわゆるMICEと書いておけば良い。日本語を書いてこれを略すとMICEになりますと書けば良いのではないかと。国際会議となにかという時に書いておけば良い。私は注がないと見ない。後にあつたら見ないです。ここは本文に説明文を取り込んでわかりやすい表現にしていく読み方もMICE(マイス)とふっておくと良い。

### 第3節「拠点都市の役割を果たすまち」について

○空閑分科会長

質問ですが、本市は佐賀県東部を含む福岡県南地域の中核都市として、とありますが佐賀県東部というのは具体的には鳥栖のことですか。

■事務局

鳥栖のことです。

○空閑分科会長

福岡県南地域というのは大牟田のところまでですよ。自分の会社で考えると県南というと大川、八女の所も入るのですが。この中には北の吉井なども入っている南か。

久留米は北とも交流もあるので、佐賀県東部ほどはないが、福岡県南というと東のほうも含めてそれより南のイメージか。

■事務局

特に佐賀県地域は、鳥栖、基山です。

○原口和人委員

シテイプロモーションの促進と書いてあります。久留米はいろいろありすぎるぐらいにある。そこに特徴を出して、何が一番売りなのか、メリハリをつけないとわからない。特産品も 45 個ぐらいある。キラリ久留米。宮崎といったらマンゴー、宮崎牛でしょ。そういったところのインパクトを出さないと、全部見えて模範解答で結局右から左に流れていくだけ。

○空閑分科会長

最初に出てくるのは水と緑と花とできますが、水と緑というのは全国で使っている。久留米と結びつかない。この次に食とあると久留米ラーメンと焼き鳥って出てくる。医療も全国的ではある。自動車産業も大きくなってきている。ものづくり、そういうところを出してほしい。私は水と緑で問題ないが、これを言ったからといっても特徴があるのかといっても決まり文句みたいなものだと思う。

○山下永子委員

ここに関してはおっしゃる通り。新たな価値のところではバイオが出てきているのに、ここにはバイオが出てきていない。こっちでは推しているのにこっちでは推していない。

○空閑分科会長

水と緑と花でいくと、久留米は農業生産が県では1位。それをこれから産業として育てようというのなら、農業のイメージを出したほうが良い。アグリ等押し出したほうが良い。アグリというと水と緑が大概満たされる。花もあります。椿やツツジなど。

○原口和人委員

意外と満遍なく優等生。例えば武雄市。教育改革が物凄くインパクトある。反転授業など、官民一体での教育。あのようなインパクトが大事。

○石橋副分科会長

僕が学長におうかがいしたいのは、この高度医療都市というのは市としては医療機関と連携する。一般の市民の人達が久留米の医療は良い、と言った時に本当に久留米にきたら医療が身近にできるシステムができるのではないかとは思いますが、まだ全然できていない。

○永田見生委員

例えば、JRや西鉄の前に相談所等の窓口を作ったらどうだろうかという話もある。気軽に来た人がどこに行ってくださいと紹介できるようなところ。

○原口和人委員

産学金官でおっしゃっていたように、例えば医薬品の開発のスピード感がない。ペクチドワクチンがでて10何年たつ。一時期脚光を浴びて、注目されていたがまだ商品化できていない。

○石橋副分科会長

やっぱり地域からすると救急体制が福岡よりよっぽど進んでいると思う。久留米はたらいまわしがない。久留米大学は高度医療救急がある。

○永田見生委員

そこはすごい。このへんは病気になって病院に行くまでの時間が短いと数字で出ているからそういうのをアピールしたら良い。

○原口和人委員

久留米大学医学部といえば全国的に有名。総合大学になったので認知度も上がっているし、学園都市久留米で、大学がいっぱいあるが、つぶれかかっているところもたくさんある。生徒が集まらない。そういったところのやり方がない。

○永田見生委員

さっき言った福岡市は、市として九大、福大ではなく、「福岡の大学に来てください」と九州全体に市としてやっている。福岡は楽しいよということをやっている。高校生からしたら福岡は楽しい。

久留米大学も法学部が定員割れしている。三人ぐらい少ない。それがなぜかと言うと、最初に入るようになっていたが、入学金も少し払わなければいけない。それを払っているのが、福大に通っていて、お金払っているけども福大に行きますと言われた。それをされたらどうしようもない。

○原口和人委員

久留米工業大学があるでしょう。あそこは定員割れという話ではない。海外に市場を向けたらいいと言っていて、この前中国に行ってきたが自動車産業が盛んでとっても優秀。そこに若者がいっぱいいるが、技術がない。久留米工業大学に生徒を30、40名でもやってくれと。久留米は技術が進んでいますからそういった売り込みをしていくべきである。

○空閑分科会長

北九州の学術研究都市の早稲田大学の大学院のコンピュータをやっている先生のところに行ったら、その先生の教室は8割が中国人。日本人は2割しかいない。授業も全部英語で、論文も英語で書いているし、生徒も英語と。

○石橋副分科会長



大学はほとんど海外から来てもらわないといけなくなる。久留米市もそれで助かる。外国人登録は人口に参入できるから。30万人を切ると税収がどっと落ちるから。30万人を死守しなければいけない。今は少しずつ増えている。

○空閑分科会長

43 ページのところ「高度情報化の推進」とありますが、もうちょっと具体的に書くべき。Wi-Fi環境があまりなく、この前ホテルに泊まった人が使おうとしたらWi-Fi環境がなくて使えなかった。それは外国の人からしたら異様な雰囲気ですよ。それが普通に使える環境市が補助金を出してでもするべきだと思う。

○山下永子委員

会長が言われたように、今外国人が来て一番困ったことといったらWi-Fi環境がないこと。もう1つ、スマートフォンやタブレットというのは5年後にでも今なお最先端のデバイスという疑問な声もあるので、デバイスに対応したというふうに、もうちょっと工夫したほうが良い。

○空閑分科会長

スマホやタブレットの活用は、今市では何か行われているのか。

■事務局

今のところはまだ。

○空閑分科会長

そういったセクションを作って、IT戦略室など作るべき。普通の会社でもある。それが無いと言葉だけになってしまう。スマホだろうとタブレットだろうと使ってみて価値がある世界だから、市民にいう場合はどこかが徹底的に使って、こんなふうに使ったら観光案内もこうやっとうまくできると。そういったものを具体的に示してあげるべきだと思う。

○空閑分科会長

市としてどういうことをするか。先々の話ですが。予算を組んで、拠点を作って市としてもこんなものを提案するというのがあったほうが良いと思う。

総論のところは1ページから9ページまで。これで全体会のときに申し上げましたが、8ページの人口のところがありました。人口を30万5000人でいくと。それはいいが、その枠の下の文章で3行目に「少子化が進行する中、自然動態(出生者数と死亡者数の差)の減少傾向は今後も続くことが予想され、減少傾向にある社会動態(転入者数と転出者数の差)の増加が無ければ人口減少は避けられません」とあるが、ここはもう少し出生者数と死亡者数の差を5年間どのように動いているか。それから転入者、転出者の差どうなっているのかという表をつけたほうが良い。

○山下永子委員

今の話で思い出したことがある。親愛短大の子は八女、大牟田。久留米も含めてこのへんに住んでいますが、地元の企業に就職したい子が多い、久留米界限。マイナビ、リクナビに登録することを進めるが、そこにはローカルな情報が出てこないで、求人票のほかにビジネスキャリア学科の子はハローワークに登録して新卒で受けさせることをしている。ハローワークのほうが地元の就職の情報が多いのでちゃんと行きなさいというと、短大が忙しく17時に閉まるので行けないと。なかなか行けない。久留米大学は全国に就職される子が多いと思うが、こういった地元に残って早く結婚して子どもを産みながらも働きたいという子が多いので、地元に住み続けてここで子育てしたいのに働く場所が無いという現実がある。

○空閑分科会長

「中小企業はなかなか採用したいが人がいない」と言っていました。それは情報交換できていないからじゃないかと。企業が集まって就職説明はありますが単発でしかないので、うまく情報交換して採用担当と話してみたほうがいいのかも说不定。

### 3. その他

---

■事務局

次回は全体会議。6月27日金曜日15時から久留米市役所302会議室にて行いたいと思っております。

### 4. 閉会

---

○空閑分科会長により閉会の挨拶